

福祉業界の経営者・経営幹部対象！

20名限定

未来Vision創造セミナー

【緊急開催】

2025年6月26日(木)

■講座時間 12:30～15:40

■所要時間:約3時間

■場所:東京 AP東京丸の内

■費用:お一人様あたり

77,000円(税込)

○人手不足の深刻化…

○利用率の不安定化…

○財務の急激な悪化…

目先の危機を突破し、
お客様や地域に強く
求められる施設の姿
を描く怒涛の180分！

メインテーマ…【地域の憧れの福祉ブランドへ】
理想を描き日常を磨き永続基盤を構築せよ！

佐藤芳直と

福祉チーム田中貴士で

福祉業の今とこれからを

徹底的にお話いたします！



“10年に一人の
天才コンサルタント”

株式会社 S・Yワークス
代表取締役

佐藤芳直



株式会社 S・Yワークス
執行役員
経営コンサルティング本部
福祉チーム リーダー
田中 貴士

【本セミナーのポイント】

- ①未来のベクトルを描く
- ②ベクトルに向かうプロセスを磨く
- ③現場・現実を変える
→危機時の戦略の重要性を知り
今実施することを整理します！

大激変動期へと突入した福祉業界… 未来に見据える理想像(=Vision)で 企業の永続が決まってしまう時代へ！

マクロ（大きく/俯瞰）

【業界への提言】

福祉に対する憧れ性が今こそ必要！
永続にはこの領域の戦略を持つこと。

【根元的な問い②】

この領域にだけ手をつけてい
れば、本当に安心なのか？
根底を疑って視ているか？

社会的な信用性の向上

制度や報酬改定の対応

本質
(不易)

旧態化

閉鎖的

誘導化

追従化

現象
(流行)

採用強化

囲い込み

カテゴリーキラー

DX化

利用者与人財の安定化

経営や事業の合理追求

今後更に福祉業界を取り巻く環境は
劇的な変化が起きていく。

【根元的な問い①】

見栄え良く、インパクトがある
事象に意識が引っ張られ過ぎ
てはいないか？

ミクロ（微細に/仰視）

想定される未来
直面する現実と

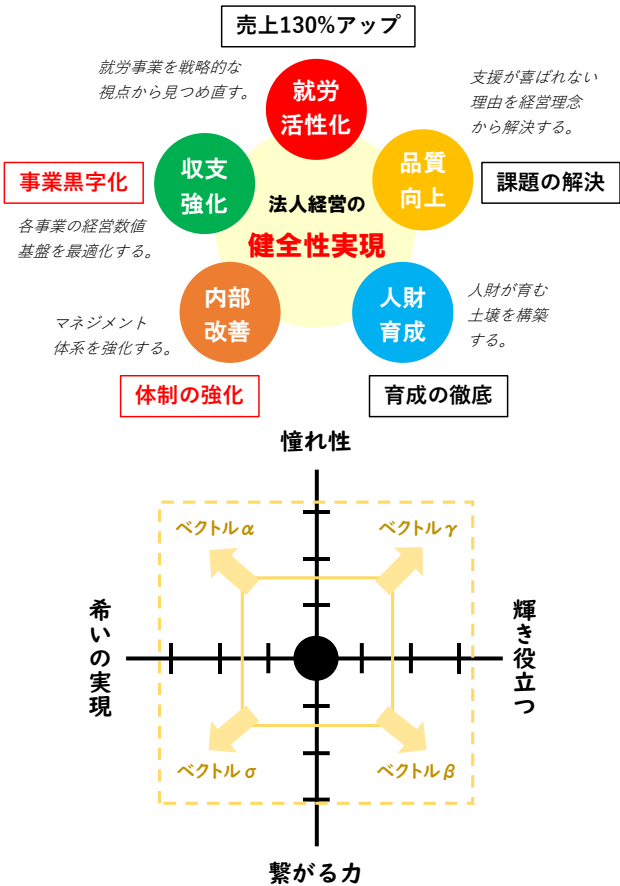
- 省人化(デジタル・AI活用) ➡ 人と人の縁は希薄化する
- 多量化(介護サービス需要) ➡ 人財の質が更に問われる
- 分業化(仕事を切り分ける) ➡ 一致団結度が重要になる
- 日常化(生活軸での関わり) ➡ 人間の希いは多様化する
- 旧態化(保守的且つ静観的) ➡ 劇的変化の速度は上がる

独自固有の強みを発見し徹底的に伸ばせ！

長所伸展による地域一番化

- 施策1:財務安定化と生産性概念の導入
- 施策2:原理原則に基づく事業の活性化
- 施策3:氷山理論による可視領域の強化
- 施策4:地域に開放された体感拠点開発
- 施策5:脱福祉事業+真のサービス提供

■講座でお伝えするポイント■ ～原理原則化～
地域一番と呼ばれる福祉施設が何に取り組んでいるかを調査すれば成功する法則(=共通項)が必ず発見できます。セミナーでは就労・療育・GHを例に挙げながら、リアルで鮮度の高い取り組みをご紹介します。



福祉を再定義し地域の理想の存在となれ！

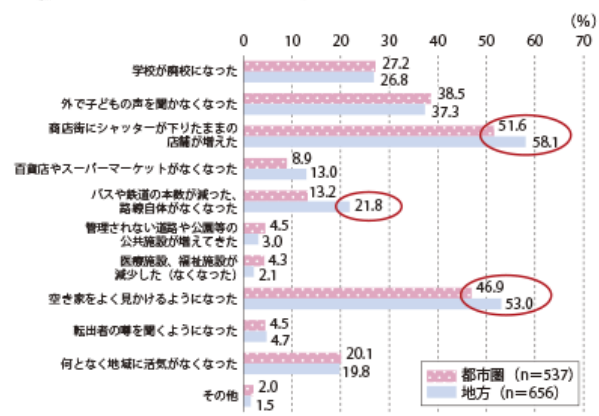
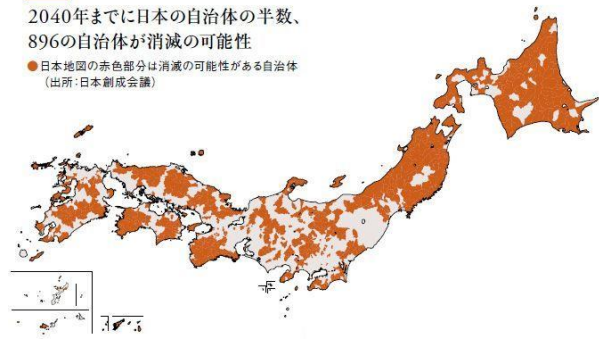
未来の理想創造と上位概念化

- 施策1:共感共鳴する人間関係基盤構築
- 施策2:対象領域拡大を狙う事業複合化
- 施策3:人財創造の抜本的仕組み見直し
- 施策4:ENGAWA事業化モデルの導入
- 施策5:福祉的地域づくり新業態の開発

■講座でお伝えするポイント■ ～福祉の再定義～
「福祉は地域に根差すもの」この考え方は特定の人々を対象にサービス提供するものだけが福祉ではなく、地域の皆が励まし合い支え合って仲良く暮らせる世界を創ることが福祉であるというものです。

→ 2040年自治体消滅マップ

2040年までに日本の自治体の半数、896の自治体が消滅の可能性
● 日本地図の赤色部分は消滅の可能性がある自治体 (出所:日本創成会議)



(参照)国土交通省「国民意識調査」2015年

